

地域の存続へ向けて



長崎の景観・夜景は斜面地の灯りが支えてきた

にたさこコミュニティ
柿田修也

管内の斜面に広がる古い住宅地(西側)



管内の斜面に広がる古い住宅地(東側)

旧仁田小跡地→令8には新保育所が開所



1 どがんかせんばいかん

～地域コミュニティ結成に至った背景～

- 超高齢化進行 2002・28.5%→2022・40.8%
- 自治会解散消滅 2002・18自治会→2022・13自治会
- 世帯数・人口減少 2002・3,285世帯6,299人→
2022・2,585世帯4,078人
- 子ども人口激減(0～14歳) 2002・603人→ 2022・265人
- 1人暮らし高齢者、夫婦2人暮らしの高齢世帯の増加

老朽危険家屋があちこちに



雑草が生い茂る空地がここそこに点在



～地域コミュニティ結成に至った背景～

*** やれてたことが困難になった、できなくなった**

- 自治会対抗の子どもソフトボール大会やバレーボール大会無し
- 単独自治会のもちつきや旅行、ラジオ体操無し→親睦・近所付き合いの減
- 自治会長なり手の不在→解散→頼る先が消滅
- お店無し→車無し→坂道や階段に「多くの買い物難民」
- 家族人数の減少→ゴミ出しなど頼れる人がいない
- いざというときの消防活動→動ける頼れる人の減少

2 どがんかせんばいかん

～地域コミュニティ結成へのみちのり～

- 2019.6.12幹事会立ち上げ(メンバー14人)
- 2019.7.16準備委員会立ち上げ(メンバー36人)
 - ⇔地域に関わる団体をリストアップ 31人参加
- 2019.8.24 **第1回話し合いの場 参加者54人**
テーマ「地域の現状を知ろう=仁田地区ってどういうところ」
- 2019.11.9 **まちあるき 参加者80人**
「地域にある名所旧跡」「心配なところを目で確かめる」

～地域コミュニティ結成へのみちのり～

- 2020.2.16 **第2回話し合いの場 参加者61人**
テーマ「私たちにできることは」～分野ごとに分かれ、問題点に対して、私たちができることや将来像を話し合った
～コロナ禍により、会議すべてが中断～
- 2020.11.15 **第3回話し合いの場 参加者66人**
「まちづくり計画」を確認、10年後20年後の将来像を考えた

～地域コミュニティ結成へのみちのり～

- 2021.2.28 **第4回=報告会 参加者68人**
これまでの話し合いで決まったことを発表し、将来の仁田地区を想像した取り組みを考えた
- 2022.3.13 設立総会において「にたさこコミュニティ設立」の承認を受けた(参加団体44団体)

コアメンバー会議10回、幹事会7回、準備委員会7回
全体会5回(まちあるき、報告会含む)

～地域コミュニティ結成へのみちのり～

- 当初は3つの連合自治会を統合したコミュニティ組織の結成を模索し、呼びかけ→他の2連合自治会は不参加
- 複数の職を兼ねる方多く、特に結成に消極的な自治会長は会議欠席→現状の危機を訴え、次第に出席へ
- 各人の負担を軽くするため部会型を模索するも、人材不足のためネットワーク型を選択→一部に負担集中もやむなし
- コロナ禍でも幹事会や準備委員会は最小限で開催→
学校・保育所・PTA・福祉・病院関係の出席は無し

～地域コミュニティ結成へのみちのり～

- ・コミュニティ結成を呼びかけた連合自治会長が入院😓
後を託された～死去(昨年)→事務局長をするつもりが会長に
- ・この3年間で3自治会が解散→自治会としての協力が皆無に
- ・市役所地域担当職員の全面的なバックアップが支え

協議会の組織（ネットワーク型）



構成団体： 44 団体

仁田地区連合自治会	西小島中之切自治会
中小島東部自治会	中小島 1 丁目西部自治会
中小島 2 丁目南部自治会	西小島上の切自治会
中小島ガーデンヒルズ自治会	稲田町一之組親交会
稲田町 3 の組自治会	中新町東部自治会
中新町西部自治会	中新町南部自治会
十善寺地区連合自治会	社会福祉協議会仁田支部
仁田地区民生委員児童委員協議会	保護司 (中 2 分区分会)
仁田佐古小学校	仁田佐古小学校 PTA
大浦中学校	大浦中学校 PTA
大浦中学校区青少年育成協議会	おやじの会
放課後児童クラブ さくらんぼクラブ	仁田佐古放課後子ども教室
仁田保育所	緑ヶ丘保育所
仁田佐古小学校区子どもを守るネットワーク	長崎市交通指導委員
市少年補導委員	県少年補導員
仁田佐古地区ふれあいセンター運営委員会	仁田佐古地区ふれあいセンター
いきいきサロンふじの会	ふれあいセンター学習グループ
消防団第 1 1 分団	消防団第 1 2 分団
第 1 1 分団地区婦人防火クラブ	第 1 2 分団地区婦人防火クラブ
長崎市スポーツ推進委員	大浦地域包括支援センター
医療法人 博生会 大久保医院	医療法人 昭会和 昭会和病院
一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院	医療法人 春秋会 南長崎クリニック

3 どがんかせんばいかん

～まちづくり計画に基づき活動を開始～

・安全安心・生活環境

空地や旧小学校運動場の草刈り

(運営主体変更 単独自治会・PTA→

コミュニティへ)中学バドミントン部も参加



3 どがんかせんばいかん

- **生活環境** さかのうえん 長崎景観研究所とコラボ



田上前長崎市長も来場

さかのうえん2号(なかしんまちヒルズ)での体験交流イベント



親子で里芋収穫

さかのうえん3号
(なかしんまちパティオ)



さかのうえん1号
(なかしんまちベース)



3 どがんかせんばいかん

・交通手段・買い物 移動販売の誘致、坂道階段に休憩用椅子

・交流・つながり ふれあいグラウンドゴルフ大会

(運営主体変更 連合自治会→コミュニティへ 参加者20%増)



3 どがんかせんばいかん

・子ども ふれあいフェスタ開催

育成協・PTAとコラボ 200人以上の大盛況!!



3 どがんかせんばいかん

・子ども・高齢者

すてきな文化の時間→日本の文化を体験



3 どがんかせんばい かん

・子ども・高齢者 もちつき 単独自治会を支援(2か所)

つきて不足コミュニティメンバーが複数参加→つながりの拡大



3 どがんかせんぱいかん

・安心安全

防火防災訓練

消防団、自治会とコラボ
自主防災体制の維持



協議会の活動を通して良くなったこと (協議会ができたから良くなったというのではないが)

- PRは不十分だが、拠点(ふれあいセンター)にすれば、地域の相談事に応じることができる。(会長→ふれセン所長として着任)
- 拠点であるふれセンは、車やバイクでも立ち寄りやすい。
- ふれセンに集う学習グループや地域の方々と顔見知りとなり、コミュニティの広報誌を見せるなどすることにより活動への協力をお願いすることができる。
- ふれセンの小学生の利用が大幅に増え、地域イベントへの参加を直接子どもたちに呼びかけることができるようになった。
→グラウンドゴルフへの子ども参加の増加
- 地域の情報がよく入り、連携がとりやすくなった。

協議会運営において心掛けていること

- 地域団体のイベントスケジュールを確認(ダブらないように)
- イベント日時に動ける方のスケジュールを確認
- 利用する施設の空き状況の確認
- 会議等案内に、文書(約1月前)とライン(約1週間前)の併用
- 数少ない地元のお店の利用
- 地域の清掃(通学路のゴミ拾い、除草・除草剤散布)
- 高齢自治会長の負担軽減と事務処理代行
⇒ 地域自治会を存続してくれる自治会長を大事に確保

4 どがんかせんばいかん(今後の展望)

- コミュニティの認知度アップ→低い認知度
- 解散危機にある2つの自治会の存続とコミュニティの関わり
- 深刻な問題解決への着手(野良猫、生活道路以外の除草)
- 参画団体主催のイベントへの参加と協力→コラボの推進
- 応募チラシよりも口頭での勧誘→少しずつでも口づて、口コミ
- 他地区コミュニティのイベントを参考に→転用・活用
- 地域主催の大イベントを人材バンクに登録→人材の発掘
 - ⇔長崎くんち神輿守(R5.10/7~9当番町)150人の役員・担ぎ手を確保
 - ⇔長崎ランタンフェスティバル(R6.2/9~25)唐人屋敷部会を運営

令和5年長崎くんち 諏訪神社長坂での最後の「もいこみ」



連絡先

- 団体名 にたさこコミュニティ
- 住所 長崎市稲田町12-14
 仁田佐古地区ふれあいセンター内
- 電話番号 ふれセン電話 095-820-2474
 会長 080-9143-7909
- メールアドレス ふれセン nitasako@outlook.jp
 ふれセン nitasako-f@ngs1.cncm.ne.jp